

# グリーン いしかがわ



Green Ishikawa No.149

f 全農いしかわ公式  
Facebookページ

全農いしかわの公式Facebookページ  
「石川うまれがだいすきさ」

県産農畜産物やJA加工品、イベント  
情報などを掲載中!ぜひご覧ください!

URL : [www.facebook.com/ishikawaumare.daisukisa](http://www.facebook.com/ishikawaumare.daisukisa)



## Green Ishikawa Contents

### ▶News&Topics

- JA全農 中期計画(令和4~6年度) ならびに令和4年度事業計画のあらまし
- 石川県本部 令和4年度事業計画
- エアリーフローラ ~旅立ちを祝う花、花言葉は「希望」~
- 北陸朝日放送×マルエー×奥能登原木しいたけ 「のと115」 デジタル販促の実施
- ルビーロマン研究会発足15周年記念碑の建立
- みのも食堂 三越銀座店で「石川県産食材フェア」を開催
- 「つくろう! ふやそう!! 園芸産地!!!!」 いしかわ園芸振興推進本部委員会 開催
- 農機お買得市の開催

### ▶お知らせほか

- JAホーム新築住宅のご紹介
- 米心石川 「春の新商品」好評販売中!!!
- アレンジレシピキャンペーン
- 肉匠Jade金沢 5周年
- ひやくまんぞく亭 1周年
- ひやくまん穀春のキャンペーン

# JA全農 中期計画(令和4~6年度)ならびに

## 情勢認識

- ・国内人口の減少・高齢化、農業就業者人口の加速度的な減少
- ・耕作放棄地の拡大、1経営体あたりの耕地面積増加
- ・単身世帯・共働き世帯の増加、食の簡便化ニーズの拡大
- ・新型コロナウイルス感染症による生活様式・消費形態の変化
- ・海外人口の増加、肥料・飼料原料などの国際的な調達競争激化
- ・SDGs（持続可能な開発目標）や「みどりの食料システム戦略」への対応
- ・事業環境の変化や事業拡大に対応できる人材育成が必要
- ・JA経済事業の基盤強化が急務

## 2030年の全農グループのめざす姿

持続可能な農業と食の提供のために  
“なくてはならない全農”で  
あり続ける

- ①JAと本会が情報を共有し、一体となって生産者にベストな支援をおこなう
- ②マーケットインを起点に、JAグループとしての食農バリューチェーンを構築する
- ③地域の暮らしと食に貢献するとともに、環境に配慮した事業をおこなう

## 6つの全体戦略における具体策

### ①生産振興

1. 多様な労働力の確保や実践型研修農場を活用した**担い手育成**、畜舎賃貸事業の拡充を通じた**家族経営への支援**、およびJA出資型法人等への出資などによる**地域の農畜産物の生産支援**
2. 消費者ニーズや地域性・収益性をふまえた**生産者への最適な生産提案の強化**と、TAC活動などを通じた担い手経営体への**対応力強化**
3. **生産拡大・品質向上に資する革新的な技術・商品の開発**、および子実用トウモロコシや果樹の**高密度栽培などの栽培実証・普及**
4. **地域の農業用施設の整備**、および生産者に資材・飼料を**効率的に供給するための配送体制の構築**

### ②食農バリューチェーンの構築

1. 冷凍青果物工場など**農畜産物流通に必要なインフラの整備**と、共同配送や統一フレキシブルコンテナの普及等による**物流合理化**
2. 地域や品目を横断した**総合営業体制の構築**と実需者への**営業強化による販売拡大**
3. 全農グループ会社や他企業等との連携による、**国産原材料を使用した魅力ある商品開発**
4. 「JAタウン」や全農グループ直営飲食店舗などの**多様な販売チャネル**、情報発信の強化による**国産農畜産物の消費拡大**

### ③海外事業展開

1. 海外ニーズを反映した**マーケットイン**の取り組みや実需者との**アライアンス**、**積極的投資を基本戦略とする輸出事業の拡大**
2. **海外原料の安定調達に向けた海外グループ会社における集荷網の拡充とサプライチェーンの強化**
3. スマート農業技術等の需要開拓や日本産農畜産物の知財権保護など、海外での**新たな事業機会の創出**

### ④地域共生・地域活性化

1. **組合員サービスの充実に向けた**、生協やファミリーマート等との企業連携、「JAでんき」やホームエネルギー事業などの**新たな取り組み強化**
2. **地域活性化に向けた「地産地消」**のネットワークづくりやEVカーシェアリング事業の実証など、**スマートシティの基盤づくり**
3. **中山間地域を含めた宅配・移動購買車やSS・LPガスの供給体制**などの強化による**生活・エネルギーインフラの維持**



# 令和4年度事業計画のあらまし



## 2030年に向けた全体戦略

### ①生産振興

TAC活動の強化や革新的な技術等による生産性向上、JA出資型法人への出資など、生産基盤の維持を最重要課題として展開

### ②食農バリューチェーンの構築

集荷から販売まで一貫したバリューチェーン構築と国産原料を使用した商品開発、消費者への情報発信により、食料自給率と生産者所得向上に貢献

### ③海外事業展開

マーケットインの商品開発や実需者とのアライアンス、投資とリスク管理による輸出拡大、輸入原材料の安定調達により、海外事業の成長戦略を展開

### ④地域共生・地域活性化

生活インフラの整備や再生可能エネルギーの普及など、地域のくらしや自然を守り、地域経済の活性化を支援

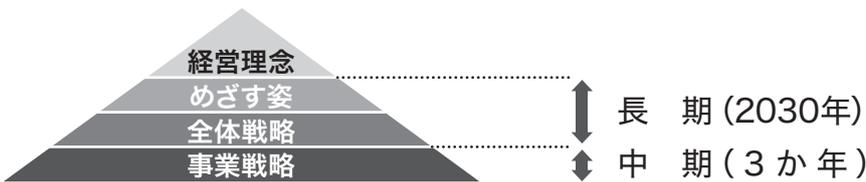
### ⑤環境問題など社会的課題への対応

環境負荷低減や地域循環農業に向けた総合的・段階的な取り組み、脱炭素化に向けた未来型の商品・技術開発を展開

### ⑥JAグループ・全農グループの最適な事業体制の構築

多様な人材の確保や業務・事業体制の再構築、財務・投資の最適化、DX戦略の構築、ガバナンスの強化などをグループが一体となって実施

## 中長期の事業計画の体系図



### ⑤環境問題など社会的課題への対応

1. 耕畜連携や国内地域資源を活用した肥料の開発、GAP活動への支援など、地域性や実態をふまえた農業における環境負荷低減の取り組み
2. 太陽光発電所や温室効果ガスの抑制をはかる技術の開発など、脱炭素化の実現に向けた取り組み
3. 農業・食・環境の重要性を学ぶ食農教育や、持続可能な農業の確立に向けた消費者理解の醸成

### ⑥JAグループ・全農グループの最適な事業体制の構築

1. 本会の機能發揮に必要な人材育成や人事制度の構築、コンプライアンス体制の強化
2. 全農グループ経営の強化に加え、事業競争力強化に向けたグループ再編整備や他企業との事業連携
3. JA経済事業の強化に向けた共同・広域事業の展開による事業拡大、および業務効率化をはかるシステム導入などの仕組み構築

## 災害などの危機管理への対応

1. コロナ禍にともなう社会的変容への対応
2. 激甚化する自然災害からの復旧支援と災害への対応準備
3. 重要家畜疾病対策の強化



# 石川県本部 令和4年度事業計画

## I. 重点施策

石川県本部では、現3か年計画においては、「農業生産の拡大」、「販売力強化と県内産農畜産物の消費拡大」、「トータルコストの低減」、「JA事業への支援拡充」、「事業シェアの拡大」を重点施策と位置付け、その目標達成に向け取り組んできたところです。

次期3か年計画の策定にあたり、生産現場では農業従事者の減少、農地の縮小、経営体の規模拡大が進み、消費面では人口減少によるコメをはじめとした農畜産物の需要が減退し、JAでは信用事業の収益低下により経営収支が悪化するなど、事業を取り巻く環境は大変厳しい状況が続くものと思われまます。

こうした厳しい状況に立ち向かっていくためには、以下の5項目を重点実施策として位置付け、目標達成に向けてスピード感をもって取り組みます。

### 【石川県本部の5つの重点実施策】

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| ① 生産振興と生産基盤の強化           | ④ JAへの支援拡充と最適な事業体制の構築 |
| ② 需要開拓と販売力の強化            | ⑤ 新たな事業領域の拡大          |
| ③ 大規模経営体への総合的対応と事業競争力の強化 |                       |

### 【生産振興と生産基盤の強化】

#### (米穀)

ア. 需要に応じた主食用米の計画生産を推進するとともに、水田活用米穀の需要確保に取り組みます。

イ. 行政機関と連携して、麦・大豆の安定生産と単収向上に取り組みます。

ウ. 行政機関と連携し、県内種子場産地の供給力維持に取り組みます。

#### (園芸)

エ. JAグループ石川営農戦略室と連携し、生産振興品目（ブロッコリー、かぼちゃ、たまねぎ、白ねぎ、切り花葉ぼたん）、県ブランド品目（ルビーロマン、加賀しずく、のとてまり・のと115、エアリーフローラ）の生産・販売の拡大に取り組みます。

オ. 生産拡大と連動した園芸種苗センターにおける優良種苗の安定生産に努めます。

#### (畜産)

カ. 畜産農家の生産基盤維持・拡大のため、本会

実験農場の運営による能登牛の生産性向上の支援強化と担い手の育成に取り組みます。

キ. 生産拡大に向けた生産者の初期投資抑制を図るため、リース式牛舎の導入による和牛子牛の生産拡大に取り組みます。

ク. 全農グループ直営農場設置により、能登豚の生産基盤拡大と有利販売の実施に取り組みます。

#### (営農)

ケ. モデル実証の取組支援により、水稻麦大豆等の2年3作体系等水田高度利用の取組を拡大します。

コ. JA・行政と連携した「うまい・きれいな石川米づくり+1運動」を展開し、優良事例の水平展開を図ります。

#### (燃料)

サ. 営農用燃料油のコスト低減対策を実施し、併せて軽油免税制度の普及推進に取り組みます。

### 【需要開拓と販売力の強化】

#### (米穀)

ア. 県産米の販売推進体制を強化し、提案型推進の展開により新規実需者への販路拡大に取り組みます。

イ. ひやくまん穀の生産拡大に応じた新規販路開拓を進めるとともに、県産米ブランドの確立に取り組みます。

ウ. 百万石乃白に対する酒米メーカーからの評価を的確にフィードバックし、栽培技術の確立に努めるとともに、販売力強化と生産拡大に取り組みます。

#### (園芸)

エ. 重点量販店等、販売先を明確にした企画販売

を推進し、主要品目の契約取引や直接販売の拡大を図ります。

オ. 県産青果物の輸出拡大に取り組みます。

#### (畜産)

カ. 能登牛の東京食肉市場への本格上場開始に伴う実需者開拓のため、首都圏での販促活動や実需者の産地招聘を実施します。

キ. 県内外の販路を拡大し、新規顧客開拓による能登牛・能登豚の取り扱い拡大に取り組みます。

ク. 多様な販売先に対応するため、大規模パックセンターにおけるHACCP認証取得に取り組みます。



## 【大規模経営体への総合的対応と事業競争力の強化】

### （米穀）

- ア. 大規模経営体への訪問推進を強化し、米心石川との協調集荷・販売により共販率の向上に努めます。
- イ. J Aと実需者を結び付けた事前契約の拡大により、県産米の早期結び付けに取り組みます。
- ウ. 大規模経営体等と連携した多収性品種の生産拡大に取り組みます。
- エ. 大規模経営体への主食用米・水田活用米穀の総合的な提案推進により、J A集荷率の向上とJ A施設利用を促進します。

### （園芸）

- オ. パレット輸送システムの構築や鉄コンテナ輸送の拡大、ならびに発泡スチロール資材の段ボール化により、流通コストの低減に取り組みます。

### （営農）

- カ. 農家手取り最大化の取り組みによる多様な担い手への経営改善を支援します。
- キ. 提案型推進や農業経営コンサル機能の発揮により、大規模経営体に対する支援を強化します。

### （肥薬）

- ク. 大規模経営体への対応として、肥料満車直送、農薬担い手規格の取り扱いを拡大します。
- ケ. 省力化資材等コスト低減に向けた資材の普及拡大を推進します。
- コ. 環境負荷の軽減を図りながら、コスト低減の

- ためB B肥料の取り扱いを拡大します。
- サ. 農薬の結集銘柄の取組みを強化し、取扱いシェアの維持拡大を図ります。

### （農機）

- シ. 共同購入トラクタ等低価格農機を導入促進し、コスト低減に取り組みます。
- ス. 高度化・複雑化する農業機械について、T A C等部門間連携により大規模経営体への推進を強化します。

### （建設）

- セ. より高度で専門的な提案に資するため、広域事業体制の整備・検討を進めます。

### （燃料）

- ソ. マスタープランの実践とJ A—S Sの運営強化により取扱いシェアの維持拡大に取り組みます。
- タ. L Pガス小売機能強化によるシェアの維持拡大、安全システムの普及拡大等による保安の高度化に取り組みます。
- チ. 全国域燃料会社との広域事業体制を整備し、事業競争力の強化を図ります。

### （自動車）

- ツ. 重点販売銘柄の取扱いシェアの拡大と中古車の取扱拡大により事業競争力を強化します。
- テ. J Aと一体となり営農車等拡販施策の拡充を図ります。

## 【J Aへの支援拡充と最適な事業体制の構築】

### （米穀）

- ア. 個袋のパレット保管・輸送等、効率的な保管管理と物流体制の構築に物流会社と連携して取り組みます。
- イ. 乾燥調製施設等のJ A域を超えた相互利用に向けた提案推進を行うとともに、県本部連合倉庫の増設を検討します。

### （園芸）

- ウ. 既存施設の効率的な活用等、J A域を超えた広域での集出荷販売体制の構築を進めます。

### （営農）

- エ. J Aと一体となった効率的な推進体制を構築し、一斉訪問の同行推進等の支援を強化します。

### （肥薬）

- オ. 受発注システムの整備を進めるとともに、農家戸配送の広域化を推進します。

### （J Aグリーン）

- カ. A コープ店舗との連携や県内外の産直品による更なる品揃え強化を図ります。

- キ. 業務改善や業態転換を含めたJ A産直・資材店舗の運営見直しを提案します。

### （農機）

- ク. 能登北部地区での一体運営の取組みによる事業体制の拡充を図るとともに、他地区での一体運営も提案します。

### （建設）

- ケ. 効率的な施設利用に資するため、施設建設及び再編提案等コンサル機能を発揮します。

### （燃料）

- コ. 小売事業の県域燃料会社での運営等のJ Aへの提案、及び、県域子会社での受入れ体制の整備を進めます。

- サ. J A域を超えた広域灯油配送体制を提案し、効率化とコスト削減に取り組みます。

### （自動車）

- シ. 自動車販売・整備の拠点・機能集約による事業体制の最適化を図るとともに、販売・整備一体となった人材育成に取り組みます。

## 【新たな事業領域の拡大】

### （米穀）

- ア. 国の輸出戦略に基づき、金沢港からの輸出品の整備等に取り組みます。

### （畜産）

- イ. 包装肉事業の強化を図り、新規大規模パックセンターの設置により、付加価値を高めたうえで能登牛・能登豚のブランド強化に取り組みます。

### （燃料）

- ウ. 石油・ガスに加え、J Aでんきの普及拡大を

- 図り、多様なエネルギーの提案に取り組みます。
- エ. 移動式S S等の次世代S Sの取組みについて協議を進めます。

### （自動車）

- オ. マイカーリース、ネット販売等の新たな販売形態の普及拡大に取り組み、若年層の対応強化と新規需要を掘り起こします。

## Ⅱ. 石川県本部における事業別実施具体策

### 米穀事業

#### 【県産米ブランドの確立と販売力の強化】

- ① 県産米ブランド（ひやくまん穀、百万石乃白）の確立
- ② ひやくまん穀の生産拡大に応じた新規販路開拓
- ③ 百万石乃白の生産拡大に向けた取り組みと販売力の強化
- ④ 県産米推進体制の強化と提案型推進の展開
- ⑤ J A・実需者結び付きによる事前契約の拡大

#### 【需要に応じた計画生産と共販集荷体制の強化】

- ⑥ 主食用米の計画生産と水田活用米穀の需要確保
- ⑦ 輸出用米の取組拡大と輸出体制の確立
- ⑧ 大麦・大豆の安定生産および単収向上と需要開拓に合わせた小麦の生産拡大

- ⑨ 米心石川との協調集荷・販売による共販率の向上
- ⑩ 物流会社と連携した効率的な保管管理と物流体制の構築
- ⑪ J A域を超えた乾燥調製施設の共同利用と県本部連合倉庫の増設検討
- ⑫ 需要に応じた米・麦・大豆種子の安定生産
- ⑬ 行政機関と連携した県内種子場産地での供給力の維持

#### 【大規模経営体への対応強化】

- ⑭ 大規模経営体等と連携した多収性品種の生産拡大
- ⑮ 大規模経営体への主食・水活米の総合的提案推進とコンサル機能確立
- ⑯ 大規模経営体との関係性強化による J A 施設利用推進

### 園芸事業

#### 【生産振興と販売力強化】

- ① 生産振興品目（ブロッコリー、かぼちゃ、たまねぎ、白ねぎ、切り花葉ぼたん）の生産・販売の拡大
- ② 県ブランド品目（ルビーロマン、加賀しずく、のとてまり・のと115、エアリーフローラ）の生産・販売の拡大
- ③ 主要品目の販売力強化に向けた契約取引や直接販売の拡大

- ④ 県産青果物の輸出拡大
- ⑤ 生産拡大と連動した園芸種苗センターにおける優良種苗の安定生産

#### 【集出荷体制の整備と出荷資材のコスト低減】

- ⑥ 将来に亘る広域集出荷体制の整備に向けた、運営手法等の協議・検討
- ⑦ パレット輸送システムの構築
- ⑧ 鉄コンテナ輸送の拡大による輸送コストの低減
- ⑨ 発泡スチロール資材の段ボール化による資材コストの低減

### 畜産事業

#### 【生産基盤の維持・拡大と販売力強化】

- ① 実験・実証農場の運営による能登牛の生産拡大および生産性向上の支援強化と担い手育成
- ② リース式牛舎による和牛子牛の生産拡大
- ③ 能登牛の東京食肉市場への本格上場開始と実需者の開拓

- ④ 全農グループ直営農場設置による能登豚の生産基盤拡大と有利販売の実施

#### 【食肉事業の販売力強化】

- ⑤ 新規開拓による販路拡大と能登牛・能登豚の取り扱い拡大
- ⑥ 新規大規模パックセンターの設置と県外での営業強化
- ⑦ 新包装形態によるギフト事業やeコマース対応の強化

### 営農対策

#### 【生産振興】

- ① 「うまい・きれいな石川米づくり+1運動」を基本とした品質向上運動の展開
- ② 「ひやくまん穀」の生産拡大に向けた生産者部会の運営支援
- ③ 水稲+大麦+大豆等2年3作体系等水田高度利用の取組拡大

#### 【大規模経営体への総合的対応】

- ④ 農家手取り最大化の取組みによる多様な担い手への経営改善支援
- ⑤ リモートセンシング技術等を活用した栽培指導と作業支援
- ⑥ Z-GISの普及推進
- ⑦ 農機部門と連携した農業用ドローンによる省力化・効率化技術の実証、提案

#### 【J Aとの一体的な取り組み推進】

- ⑧ 一斉訪問等の J A 提案活動の支援強化

### 肥料・農薬事業

#### 【B B 肥料等のシェア拡大とコスト低減】

- ① B B 肥料の取り扱い拡大によるコスト低減
- ② 水稲除草剤・箱施薬剤の結集品目集約によるコストの低減
- ③ 肥料満車、農薬担い手規格等、担い手直送品目の取扱拡大によるコスト低減とシェア向上
- ④ 被覆肥料における環境対策への対応強化

#### 【J A 事業への支援強化】

- ⑤ 受発注システムを活用した J A 配送コスト削減に向けた農家戸配送の拡大と配送体制の整備
- ⑥ A コープ店舗との連携や県内外の産直品による品揃えの更なる強化
- ⑦ 業務改善や業態転換を含めた J A 産直・資材店舗に対する運営体制の見直し等コンサル指導



## 農機事業

### 【一体化運営の取組拡大等 J A 農機事業への支援強化】

- ① 能登北部での一体化運営の実践によるモデル確立
- ② 他地区への一体化運営の提案
- ③ J A 農機センターの収支改善支援

- ④ T A C 部門と連携した大規模経営体への対応強化
- ⑤ 各種講習会、販売・整備コンテストの実施

### 【低価格農機の導入促進】

- ⑥ 共同購入トラクタ（中型）の推進強化
- ⑦ お買い得市の開催等中古農機の取扱強化

## 建設事業

### 【効率的な施設利用に資するための施設建設および再編提案】

- ⑧ 広域集出荷拠点の新設・再編に向けたコンサル機能の発揮

- ⑨ 既存共同利用施設の広域利用に向けた中長期ビジョン策定支援

- ⑩ 環境負荷の低減や減災の施設・設備の導入推進
- ⑪ プラント施工管理者の育成および各種資格の取得
- ⑫ 広域事業体制の整備・検討

## 燃料事業

### 【マスタープランの実践と J A - S S の運営力強化】

- ① チェーン会を軸としたキャンペーンによる競争力強化
- ② S S 最適配置（マスタープラン）の実践
- ③ 販売力強化に向けた老朽化機器等のリニューアル促進
- ④ 移動式 S S 等次世代 S S の導入検討

- ⑥ 燃料転換等の L P ガス販売力の強化
- ⑦ 安全化システムの普及促進
- ⑧ 保安指導による法令遵守の徹底

### 【J A 燃料事業の基盤強化】

- ⑤ J A - L P ガスハートキャッチ活動拡大

- ⑨ 事業譲受等に向けた体制整備による事業運営基盤の強化
- ⑩ J A 域を超えた広域灯油配送体制確立による輸送コストの低減
- ⑪ 電気事業（J A でんき）の普及拡大

## 自動車事業

### 【販売・整備拠点集約等の体制整備】

- ① 販売・整備拠点の集約と運営方法の整備
- ② 近隣拠点間での連携による販売拡大やコスト削減

### 【効率的な拡販政策によるシェア拡大】

- ③ 買取未使用車の品揃え等、営農車での拡販政策の拡充

- ④ 重点販社銘柄の取り扱いシェアの拡大と中古車の取扱強化

- ⑤ マイカーリース、ネット販売の取組など若年層への対応強化

- ⑥ 販売・整備一体となった研修・コンテスト等人材育成の支援

## 管理部門

### 【経営管理の徹底】

- ① J A 支援等施策管理の徹底
- ② 協同会社の経営管理と支援強化

### 【県産農畜産物の消費拡大のための総合プロデュース】

- ③ 各メディアを利用した県産農畜産物の有効的な情報発信
- ④ 県内外での積極的な販売促進の実施
- ⑤ 各 J A との連携強化と J A タウンを利用したネット販売の強化
- ⑥ 肉匠 Jade 金澤、ひやくまんぞく亭の運営強化

### 【ファーマーズマーケットの店舗展開と運営力強化】

- ⑦ A コープ店舗や農産物直売所を拠点とした「地産地消」の推進ネットワークの強化

### 【コンプライアンス・リスク管理の徹底】

- ⑧ コンプライアンス・リスク意識・知識の向上に向けた継続的な研修の実施

- ⑨ 拠点巡回による食品表示、労働災害等重要リスクへの管理強化

### 【事業運営体制の強化】

- ⑩ 事業体制・職場管理体制の強化
- ⑪ 戦略的な人材育成プログラムの実践と適正な労務管理

- ⑫ 固定資産の再整備



園芸課

# エアリーフローラ ～旅立ちを祝う花、花言葉は「希望」～



## エアリーハッピーウィークエンド



令和4年1月29日(土)～30日(日)の2日間、イオンモール新小松店にてエアリーフローラPRイベントが開催されました。イオンアプリ会員の方、もしくはエアリーフローラ Instagram プレゼントキャンペーンに参加された方限定、先着100名様にエアリーフローラがプレゼントされ、参加者はエアリーフローラの色の豊かさや香りを楽しんでいました。

また、エアリーフローラを使用したフォトスポットも設置され、写真を撮る家族連れや若者達で盛況となりました。

## フラワーアレンジメントオンライン教室

令和4年2月5日(土)、オンラインでのアレンジメント教室が金沢港クルーズターミナルから配信されました。参加申込者数は定員を超える大盛況となりました。

講師に2019ワールドフラワーアートコンテスト世界第3位の小西拓氏をお迎えし、実演及びオンラインを通じた参加者へのレッスンが行われました。



## 金沢駅での撮影スポットの設置

令和4年3月12日(土)～21日(月)まで、金沢駅コンコースにて、エアリーフローラオブジェの展示が行われ、オブジェには約2,000本のエアリーフローラがふんだんに使用されました。



石川県産オリジナル品種のフリージアで、その名前には「優雅な春の女神」という意味が込められています。開花の最盛期が卒業や入学など新たな旅立ちの時期と重なることから、キャッチフレーズは「旅立ちを祝う花」、そして、花言葉は「希望」。フリージアといえば黄色が一般的ですが、エアリーフローラは現在、11色で展開しています。

園芸課

## 北陸朝日放送×マルエー×奥能登原木しいたけ「のど115」 デジタル販促の実施



令和4年2月9日(水)～22日(火)、マルエー全店にて北陸朝日放送とマルエーの2社とコラボした「のど115」デジタル販促が実施されました。

北陸朝日放送「美人レシピ」の番組内にて「のど115」を使用したメニューを開発し、紹介。更に動画サイト「YouTube」やレシピサイト「cookpad」にも公開し、PRを図りました。

また、番組のレシピ動画をマルエーでも配信し、県内消費者に「のど115」の魅力を改めて知っていただく機会となりました。

オンライン  
レシピ動画は  
こちらから

しいたけ  
パターステーキ



しいたけ  
和風パスタ









園芸課

## ルビーロマン研究会発足15周年記念碑の建立



鮮やかな赤色と粒の大きさが特長の高級ぶどう「ルビーロマン」。石川県が14年かけて開発・育成に取り組んできました。そのルビーロマン発祥の地である砂丘地農業研究センターにて「ルビーロマン研究会」団体設立15周年を記念し記念碑が設置されました。除幕式は3月4日（金）、生産者ら約60名が参列し開催されました。

「生産者と研究者の夢だった大粒の赤いぶどうが誕生し、今では石川を代表する農産物になりました。今後の産地の発展を祈念して石碑を建立しました。」とルビーロマン研究会大田会長より建立の経緯が述べられました。石碑には「ルビーロマンの発祥地」の文字が刻まれ、自ら揮毫をつとめ式に出席した谷本知事は「ルビーロマンは石川県を代表するブランドに成長したが、これで満足せず、さらに品質のよいぶどう作りに取り組んでほしい。」と今後さらなる成長に期待を寄せていました。

開発  
広報課

## みのる食堂 三越銀座店で 「石川県産食材フェア」を開催



令和4年3月1日～4月30日までの2カ月間、JA全農直営飲食店舗「みのる食堂三越銀座店」において「石川県産食材」フェアが開催されます。フェアでは、「ひやくまん穀」と「能登牛」を使用した「和風ビビンバ丼定食」や「サーロイン定食」等の特別メニューを提供し、石川県産食材のおいしさを県外の消費者に広くPRします。

また、期間中、石川県産特別メニューをご利用いただいた方に「ひやくまん穀パックご飯」1個を無料でプレゼントし、家庭でも大粒で冷めても美味しい「ひやくまん穀」を味わってもらえるような企画も実施します。



JAグループ  
営農戦略室  
園芸課

## 「つくろう！ふやそう！！園芸産地！！！」 いしかわ園芸振興推進本部委員会 開催

令和4年2月9日(水)、石川県農業会館6階大会議室にて、いしかわ園芸振興推進本部委員会が開催されました。いしかわ園芸振興推進本部は、JAグループ石川と県で構成され、昨年度に策定した園芸振興5か年計画である第2次「つくろう！ふやそう！！園芸産地！！！」振興計画の実現に向け、園芸産地の拡大に取り組んできました。会議では園芸品目の販売情勢報告のほか、重点推進品目である、ブロッコリー、かぼちゃ、白ねぎ、たまねぎ、エアリーフローラ、切り花葉ぼたんについて、今年度の振興取組み状況の報告および令和4年度の方策を協議しました。次年度も計画の達成に向け、品目別に設定された振興取組みについて、各産地で実践していきます。また、各JAが重点的に推進を図る1品目を設定し、園芸生産振興に取り組む「園芸振興アタック16」の取組みの成果として、既存産地拡大や出荷量の増大、広域的な選果場利用の体制整備などの報告を行いました。

JAグループ石川はこれからも各関係機関と連携し、生産拡大と農業者の所得増大を図っていきます。



農機  
施設課

## 農機お買得市の開催

3月4日(金)～3月5日(土)の2日間、農機施設課特設会場において、農機お買得市を開催しました。コロナ感染予防対策を徹底して開催し、100名近くの方に会場いただきました。会場では、トラクタ・田植機・コンバインなどの中古農機や旧型・実演機を多数展示致しました。当日はメーカーやJAの農機担当者の協力もあり、中古農機を中心に多くの成約をいただきました。全農共同購入トラクタ(SL33)につきましては来場者から問い合わせをいただくなど大きな注目を集めていました。



今後も中古農機の品揃え、低価格モデルトラクタの推進等を強化していきたいと考えておりますので、ご協力の程宜しくお願い致します。



# JAホーム 新築住宅のご紹介



## 「大きな吹抜けと庭が楽しめる開放感抜群の家」

■ 思い出の欄間が新しい形となって受け継がれていく

約5.5mの高さがある吹抜けと隣接する実家の庭が眺められるリビングは水平方向にも垂直方向にも視野が抜けて、とても開放感のある空間となりました。玄関ホールとキッチン横には減築した実家の和室部分に使用されていた欄間を埋め込み、新築住宅でありながらも思い出の詰まった住まいとなりました。

2022/1/15～23の期間中に新築住宅内見会を開催しました。雪が積もる中、たくさんのご来場をありがとうございました。

新築・リフォームのご相談はJAホームまで  
(株)JA建設エナジー 住宅課

TEL 076-240-5441 HP <http://www.jahome.jp/>

## 米心石川 「春の新品」好評販売中!!!

ひやくまん穀  
おにぎり  
石川県産たけのこ  
和風だし

白山麓の雪解け水をたっぷりと含み、時間をかけて栄養を吸収して育てた柔らかくアクが少ないのが特徴の「加賀野菜」たけのこを使用しており、和風だして味つけし、白いご飯の中に具をたっぷり入れました。

春の  
3種盛り  
セット

上質な味わいの山菜ごはん、自社で蒸し上げたもちりとした大納言赤飯、自家製だしが効いたたけのこご飯の3種類の味が楽しめる春爛漫セットです。



石川  
県産

ひやくまん穀 おにぎり

# 応募方法

1

Instagramで米心をフォロー!



米心石川Instagram

2

#ひやくまん穀おにぎりアレンジレシピ

をつけてあなたが考えたひやくまん穀おにぎりアレンジレシピを投稿!

3

投稿いただいた中から抽選で100名様にひやくまんぞくセット\*をプレゼント!

\*ひやくまん穀精米含むオリジナルセット.....



4

当選のご案内はDMでお送りします。



開催期間 3月1日(火)▶31日(木)

# アレンジレシピ キャンペーン

開催期間 3月1日(火)▶31日(木)

ひやくまん穀おにぎりをアレンジしたレシピを投稿してプレゼントをGET!

《《 応募方法は裏面へ》》



「つくる」と「食べる」のあいだに...  
株式会社 米心石川

米新品種「ひやくまん穀」普及推進委員会

100.kome.ishikawa ひやくまん穀 検索

ひやくまん穀おにぎりアレンジレシピを紹介しています》》

## 金沢のお出汁昆布を使用した ヴァレクとコンビーフの卵黄添え



材料

- ・コンビーフ
- ・エディブルフラワー
- ・醤油
- ・デトロイト
- ・ごま油
- ・ミニトマト
- ・卵黄



【使用するひやくまん穀おにぎり】  
金沢のお出汁昆布



詳細は裏面をご覧ください。

## 能登牛そぼろマヨを使用した ライスロッケ



材料

- ・卵
- ・パン粉
- ・小麦粉
- ・エディブルフラワー
- ・デトロイト
- ・ディル



【使用するひやくまん穀おにぎり】  
能登牛そぼろマヨ

## 大野たまり醤油 和風ツナ・マヨを使用した 肉ダレ焼き おにぎり



材料

- ・焼肉のタレ

【使用するひやくまん穀おにぎり】  
大野たまり醤油  
和風ツナ・マヨ

## 能登塩まぶし紅鮭を使用した ピリ辛クッパ



材料

- ・鶏がらスープの素
- ・ラー油(好みで)
- ・小葱
- ・卵
- ・ごま油
- ・わかめ

【使用するひやくまん穀おにぎり】  
能登塩まぶし  
紅鮭

## 能登豚生姜焼きを使用した 飽きのこない甘辛が くせになるチャーハン



材料

- ・鶏がらスープの素
- ・醤油
- ・紅生姜
- ・小葱
- ・卵

【使用するひやくまん穀おにぎり】  
能登豚生姜焼き

## 能登塩まぶし焼たらこを使用した ホワイトドリア



材料

- ・好きな具材  
(ブロッコリー・シーフードミックス)
- ・バター
- ・チーズ
- ・ホワイトソース

【使用するひやくまん穀おにぎり】  
能登塩まぶし  
焼たらこ

## ドライカレーを使用した たっぷりチーズオン ドライカレー



材料

- ・チーズ
- ・卵黄
- ・牛乳
- ・小葱

【使用するひやくまん穀おにぎり】  
ドライカレー



能登牛認定店

JA全農いしかわ直営 能登牛焼肉専門店



肉匠

Jade

金澤

全農



特上能登牛焼肉ランチ

赤身肉盛り  
【輝】

内容

- ランチ 2,750円(税込み)以上のランチ2割引 + ホルモンプレゼント
- ディナー 盛合わせ「輝」2割引 + ホルモンプレゼント

さらに、お食事頂いた方には次回以降使用できるお得な特別クーポンを店頭でプレゼント

期間 2022年3月25日(金)~29日(火)



メニュー詳細、ネットでのご予約はこちらから ▶

能登牛認定店

JA全農いしかわ直営 能登牛焼肉弁当店



ひやくまんぞく亭

全農

能登牛焼きたて  
サーロイン重

内容

- 焼きたて弁当お買い上げで加賀棒茶1本プレゼント
- 500円(税込み)以上お買い上げでひやくまん穀パックごはん1個プレゼント【各日先着50名】

期間 2022年3月25日(金)~27日(日)



ひやくまんぞく亭の詳細はコチラをご覧ください ▶



ひやくまん穀 石川県産

# ひやくまん穀 春の キャンペーン

総勢  
100名様に  
当たる!

ひやくまん穀を  
より美味しく!

**A賞 10名様**  
パナソニック炊飯器



IHジャー炊飯器 SR-FD101-T

パナソニック炊飯器・能登牛を抽選でプレゼント!  
さらに外れた方の中からWチャンスとして抽選で  
特製ひやくまん穀お箸をプレゼント!

ひやくまん穀一般精米あるいは無洗米の2kg・5kgを  
ご購入いただき、商品のバーコード(1枚1口)を店内にある  
専用応募ハガキ、あるいは郵便ハガキに貼付けてご応募ください。

景品は変更になる場合があります。ご当選者様の発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。

**B賞 40名様**  
能登牛



**Wチャンス 50名様**  
特製ひやくまん穀お箸



キャンペーンの  
詳細はこちらから

開催期間  
5/31(大)  
まで



【ご注意】●応募ハガキ1枚1口での応募となります。●本キャンペーンへの応募は日本国内にお住まいの方で、かつ景品のお届け先が日本国内の方に限らせていただきます。●当選の権利の譲渡はできません。●お客様のご都合による景品の交換・返品は受け付けませんのでご了承ください。●必要事項の記入漏れや、バーコードの貼り忘れ、コピーしたバーコードでの応募は無効とさせていただきます。●必要情報の入力に不備がある場合、お客様のご注文の理由により景品がお届けできない場合、その他応募に際して不正な行為があった場合は無効とさせていただきます。●ご購入いただいた個人情報は厳正に管理し、景品の発送および個人を特定しない統計的資料としてのみ使用いたします。お客様の個人情報をお客様の同意なしに第三者に提供することはありません(法令等により開示を求められた場合を除く)。●景品の写真はイメージです。仕様・デザインは予告なく変更となる場合がございます。●このキャンペーンは、やむを得ない事情により中止・変更となる場合があります。

ふっくら大粒、冷めても美味しい。

米新品種「ひやくまん穀」普及推進委員会

f t i 100.kome.ishikawa ひやくまん穀



私たち全農グループは、  
生産者と消費者を  
安心で結ぶ懸け橋  
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

発行所/全国農業協同組合連合会 石川県本部  
管理部 開発広報課  
〒920-0383 金沢市古府1丁目220番地  
TEL (076) 240-5371 FAX (076) 240-5319  
<http://www.is.zennoh.or.jp>